

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 岡村 繁
 (氏名) 山下 和男

TEL 025-245-4112

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,438	△22.4	△53	—	△51	—	△98	—
21年3月期第2四半期	12,169	—	602	—	568	—	316	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△3.67	—
21年3月期第2四半期	11.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	40,993	12,228	29.8	453.23
21年3月期	40,873	12,277	30.0	455.04

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,228百万円 21年3月期 12,277百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	3.00	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,796	△15.6	△26	—	△82	—	△156	—	△5.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	27,000,000株	21年3月期	27,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	19,518株	21年3月期	19,518株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	26,980,482株	21年3月期第2四半期	26,982,277株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月11日に公表しました平成22年3月期の業績予想を修正しております。また、期末配当予想額につきましても修正しております。詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報、平成21年10月30日公表の「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正ならびに配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。
- 本資料に掲載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであります。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成21年4月1日から9月30日までの6か月間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、依然として停滞感が否めないまま推移しているものと認識しております。今後につきましては、一部で回復の兆しが見られるものの、当面は不透明且つ流動的な事業環境が続くものと予想されます。

このような事業環境の下、当社グループは、不急な設備投資の圧縮と経費削減に取り組んで参りましたが、当第2四半期の売上高は94億3千8百万円（前年同期比22.4%の減収）、経常損失は5千1百万円（前年同期は5億6千8百万円の経常利益）、四半期純損失は9千8百万円（前年同期は3億1千6百万円の四半期純利益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

[運輸作業部門]

景気低迷の影響を大きく受け、全体として取扱貨物量は前年同期に比べ大幅に減少した結果、235万8千トン（前年同期比20.1%の減少）となり、貨物自動車運送事業取扱収入及び倉庫事業収入などを合わせた同部門の収入は37億5千9百万円（前年同期比28.3%の減収）、営業利益は4千7百万円（前年同期比90.7%の減益）となりました。

[港湾部門]

入港船舶数が減少した結果、同部門の収入は9千9百万円（前年同期比20.4%の減収）、営業利益は9百万円（前年同期比61.6%の減益）となりました。

[不動産部門]

昨年度、新たに販売を開始しました「ゆめタウン内野」は、市況の低迷から今期は一転して非常に厳しい販売状況にあります。しかしながら、主な収入である地代・家賃収入が堅調に推移していることから、同部門の収入は4億5千5百万円（前年同期比9.7%の減収）、営業利益は2億2千1百万円（前年同期比12.5%の増益）となりました。

[機械販売部門]

今期は、グループ事業の見直しの一環として、子会社であるリンコー運輸株式会社から当社への整備事業の移譲及び新整備工場の稼働を開始しましたが、同部門の収入は7億8千6百万円（前年同期比15.3%の減収）、営業利益は1百万円（前年同期比98.3%の減益）となりました。

[ホテル事業部門]

株式会社ホテル新潟につきましては、前期から運営委託を行っておりますが、今期もブランド変更に伴う第二次改修工事の実施により不稼働が発生したことや法人・個人消費の冷え込みにより、一般宴会、レストラン部門が減収となりました。

また、株式会社ホテル大佐渡は佐渡汽船株式会社の運賃割引による効果は多少あったものの、収入は前期並で推移しております。

その結果、同部門の収入は15億6千7百万円（前年同期比11.5%の減収）、営業損失9千9百万円（前年同期は6千万円の営業損失）となりました。

[商品販売部門]

円高による機械輸出の減少や、国内経済の悪化に伴い、建設資材やセメント販売の売上が減少した結果、同部門の収入は25億7千8百万円（前年同期比19.4%の減収）、営業利益は4千2百万円（前年同期比48.7%の減益）となりました。

[その他事業部門]

航空貨物代理店業は堅調に推移したものの、その他の内航海運取扱事業、通関業、船舶代理店業、保険代理店業、OA機器販売事業、木材リサイクル事業を合わせた同部門の収入は5億9千7百万円（前年同期比22.2%の減収）、営業利益1億6千9百万円（前年同期比38.2%の減益）となりました。

なお、平成21年4月1日付けで、子会社であるリンコー運輸株式会社が営む事業のうち、自動車分解整備事業及び産業廃棄物処理事業の一部の権利義務を当社が承継する吸収分割を行いました。当該事象によるセグメント情報に与える影響につきましては、当該箇所に記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の財政状態は、前連結会計年度と比較して、資産は1億2千万円、負債は1億6千9百万円増加し、純資産は4千8百万円減少いたしました。

資産の増加の主な要因は、現金及び預金が2億1千1百万円減少し、建物及び構築物が1億4千8百万円、有形固定資産のその他が3億円増加し、投資有価証券も時価評価により2億2千万円増加したことであります。建物及び構築物や有形固定資産のその他の増加につきましては、主に機械販売部門の新事務所、新整備工場の完成、稼動によるものであります。

負債の増加の主な要因は、設備関係を含めた支払手形及び営業未払金が2億9千7百万円減少し、短期、長期借入金金が4億9千9百万円純増したことであります。

純資産の減少の主な要因は、第2四半期純損失や配当金の支払いにより利益剰余金が1億7千9百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億3千万円増加したことであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失、減価償却費、仕入債務の減少などにより当第2四半期連結累計期間は、1億2千3百万円の支出超過（前年同期は、7億6千1百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、有形固定資産の売却による収入などにより当第2四半期連結累計期間は、4億4千万円の支出超過（前年同期は5億7千1百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期、長期借入金の純増、配当金の支払いなどにより当第2四半期連結累計期間は、3億5千1百万円の収入超過（前年同期は2億2千7百万円の支出超過）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2億1千3百万円減少し、2億4千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月30日に公表しました「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正ならびに配当予想に関するお知らせ」に記載のとおり、平成21年5月11日の決算短信で発表しました連結通期業績予想を修正しております。修正の内容は以下のとおりであります。

前回発表時点では、今年度下期において国内の景気は一定の回復を見せるものと想定しておりましたが、今回の発表時点で改めて今後の国内の景気動向及び当社企業グループの事業環境を精査した結果、今年度上期に比べ若干の明るい兆しは垣間見えるものの、まだ暫くの間は厳しい事業環境が継続する見通しであります。

下期におきましても、当社及び子会社の運輸作業部門の貨物取扱数量が前期に比べ低調に推移する見通しであることから、通期の連結業績予想を下表のとおり修正いたしました。

なお、下記の予想は、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今回の業績予想の修正と異なる可能性があります。

平成22年3月期連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	19,700	330	160	10
今回修正予想 (B)	18,796	△26	△82	△156
増減額 (B-A)	△904	△356	△242	△166
増減率 (%)	△4.6	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	22,261	675	576	△1,126

(注) 「前回発表予想」は、平成21年5月11日付の公表値、「今回修正予想」は平成21年10月30日付の公表値であります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	252,864	464,311
受取手形及び営業未収入金	3,777,098	3,759,837
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	230,930	231,385
仕掛品	5,760	5,164
原材料及び貯蔵品	40,807	44,642
繰延税金資産	140,539	130,961
その他	1,138,616	1,242,668
貸倒引当金	△20,914	△13,943
流動資産合計	5,615,704	5,915,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,120,085	21,740,175
減価償却累計額	△13,710,377	△13,478,966
建物及び構築物(純額)	8,409,707	8,261,209
機械装置及び運搬具	2,376,452	2,404,060
減価償却累計額	△2,081,283	△2,074,309
機械装置及び運搬具(純額)	295,168	329,750
土地	22,023,454	22,021,956
建設仮勘定	11,812	184,500
その他	2,000,287	1,680,047
減価償却累計額	△1,403,551	△1,384,014
その他(純額)	596,736	296,032
有形固定資産合計	31,336,880	31,093,449
無形固定資産		
その他	20,542	23,027
無形固定資産合計	20,542	23,027
投資その他の資産		
投資有価証券	2,755,553	2,535,046
繰延税金資産	63,971	80,267
その他	1,297,406	1,327,803
貸倒引当金	△101,647	△107,583
投資その他の資産合計	4,015,283	3,835,534
固定資産合計	35,372,706	34,952,010
繰延資産		
社債発行費	5,451	6,080
繰延資産合計	5,451	6,080
資産合計	40,993,861	40,873,118

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,520,689	2,818,576
短期借入金	9,062,208	8,806,113
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	81,854	69,877
賞与引当金	96,318	104,310
その他	1,466,970	1,583,434
流動負債合計	13,328,041	13,482,313
固定負債		
社債	350,000	400,000
長期借入金	5,334,820	5,091,224
繰延税金負債	1,667,617	1,605,535
再評価に係る繰延税金負債	6,550,795	6,550,795
退職給付引当金	616,339	541,661
役員退職慰労引当金	163,307	193,347
その他	754,680	730,984
固定負債合計	15,437,560	15,113,547
負債合計	28,765,602	28,595,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,459	809,459
利益剰余金	1,411,474	1,591,348
自己株式	△6,656	△6,656
株主資本合計	4,164,278	4,344,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	274,093	143,218
土地再評価差額金	7,789,887	7,789,887
評価・換算差額等合計	8,063,980	7,933,105
純資産合計	12,228,259	12,277,257
負債純資産合計	40,993,861	40,873,118

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高		
運輸作業収入	5,212,934	3,738,023
港湾営業収入	125,649	99,955
不動産売上高	251,595	190,461
機械営業収入	924,050	769,504
ホテル営業収入	1,754,144	1,557,897
商品売上高	3,140,206	2,494,051
その他の事業収入	761,262	588,993
売上高合計	12,169,843	9,438,887
売上原価		
運輸作業費	4,634,447	3,620,610
港湾営業費	100,057	89,840
不動産売上原価	146,834	89,389
機械営業費	862,194	767,234
ホテル営業費	1,565,656	1,371,894
商品売上原価	3,007,648	2,408,081
その他の事業費用	489,242	422,299
売上原価合計	10,806,081	8,769,350
売上総利益	1,363,762	669,537
販売費及び一般管理費		
役員報酬	106,150	95,706
給料	143,432	143,934
賞与	34,731	35,148
賞与引当金繰入額	10,755	8,705
退職給付費用	19,906	21,960
役員退職慰労引当金繰入額	18,261	13,820
福利厚生費	79,970	88,588
減価償却費	14,027	16,358
貸倒引当金繰入額	2,937	2,314
雑費	331,328	296,376
販売費及び一般管理費合計	761,501	722,913
営業利益又は営業損失(△)	602,260	△53,376
営業外収益		
受取利息	6,343	5,769
受取配当金	62,514	28,735
助成金収入	—	61,207
雑収入	27,601	20,902
営業外収益合計	96,459	116,614
営業外費用		
支払利息	119,623	102,836
雑支出	10,121	11,432
営業外費用合計	129,745	114,269
経常利益又は経常損失(△)	568,975	△51,031

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	5,961	1,084
貸倒引当金戻入額	15,962	170
特別利益合計	21,924	1,254
特別損失		
固定資産処分損	24,756	1,774
投資有価証券評価損	3,810	—
販売用不動産評価損	13,621	—
その他	1,500	—
特別損失合計	43,688	1,774
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	547,211	△51,551
法人税、住民税及び事業税	243,578	67,404
法人税等調整額	△13,175	△20,023
法人税等合計	230,402	47,380
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	316,808	△98,932

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	547,211	△51,551
減価償却費	318,293	312,959
繰延資産償却額	—	628
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,566	1,035
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,878	△7,992
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,507	74,678
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,575	△30,039
受取利息及び受取配当金	△68,858	△34,505
支払利息	119,623	102,836
有形固定資産売却益	△5,961	△1,084
有形固定資産処分損	24,756	1,774
投資有価証券評価損益(△は益)	3,810	—
ゴルフ会員権評価損	1,500	—
売上債権の増減額(△は増加)	△586,210	△7,211
たな卸資産の増減額(△は増加)	83,505	3,857
その他の資産の増減額(△は増加)	△560,396	67,417
仕入債務の増減額(△は減少)	321,843	△326,220
その他の負債の増減額(△は減少)	754,895	△130,651
その他	9,103	437
小計	929,602	△23,628
利息及び配当金の受取額	68,858	34,505
利息の支払額	△118,480	△106,307
損害賠償金の支払額	—	△60,175
法人税等の支払額	△130,736	△66,909
法人税等の還付額	11,890	98,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	761,135	△123,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,800	△11,800
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△454,767	△636,920
有形固定資産の売却による収入	7,889	298,028
無形固定資産の取得による支出	△550	—
投資有価証券の取得による支出	△660	△807
投資有価証券の売却による収入	15,000	—
貸付けによる支出	△120,000	△120,000
貸付金の回収による収入	88,860	129,858
その他の支出	△130,568	△129,741
その他の収入	24,757	20,402
投資活動によるキャッシュ・フロー	△571,839	△440,981

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	475,000	480,894
長期借入れによる収入	1,100,000	1,450,000
長期借入金の返済による支出	△1,461,217	△1,431,204
社債の償還による支出	△150,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△2,274	△16,985
自己株式の取得による支出	△205	—
配当金の支払額	△188,654	△81,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,351	351,597
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38,055	△213,247
現金及び現金同等物の期首残高	400,803	453,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	362,747	240,164

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	運輸作業 部門 (千円)	港湾部門 (千円)	不動産部門 (千円)	機械販売 部門 (千円)	ホテル事業 部門 (千円)	商品販売 部門 (千円)	その他事業 部門 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	5,212,934	125,649	251,595	924,050	1,754,144	3,140,206	761,262	12,169,843	—	12,169,843
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,350	—	253,339	4,665	15,691	57,794	6,508	370,348	(370,348)	—
計	5,245,284	125,649	504,935	928,715	1,769,835	3,198,000	767,770	12,540,191	(370,348)	12,169,843
営業利益（△営業損失）	510,728	25,242	197,216	62,135	△60,539	83,339	273,975	1,092,099	(489,838)	602,260

(注) 1 事業区分は、四半期連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。
2 事業区分に属する主な内容

事業区分	主なる事業内容
運輸作業部門	港湾運送事業、通運事業、倉庫事業、貨物自動車事業
港湾部門	船舶碇繋場業(繫船、纜取、給水業務)
不動産部門	土地建物の賃貸、分譲及び仲介業
機械販売部門	建設機械等の販売、修理及び整備業
ホテル事業部門	ホテル、結婚式場、レストランの経営
商品販売部門	セメント製品等の販売、輸入製品の販売
その他事業部門	産業廃棄物の処理業務、通関業務、船舶代理店業務、保険代理店業務、航空貨物取扱業務、物品賃貸業、OA機器の販売

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	運輸作業 部門 (千円)	港湾部門 (千円)	不動産部門 (千円)	機械販売 部門 (千円)	ホテル事業 部門 (千円)	商品販売 部門 (千円)	その他事業 部門 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	3,738,023	99,955	190,461	769,504	1,557,897	2,494,051	588,993	9,438,887	—	9,438,887
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,545	—	265,347	17,064	9,169	84,891	8,447	406,466	(406,466)	—
計	3,759,568	99,955	455,809	786,569	1,567,067	2,578,943	597,440	9,845,353	(406,466)	9,438,887
営業利益（△営業損失）	47,261	9,690	221,898	1,051	△99,164	42,780	169,225	392,743	(446,119)	△53,376

(注) 1 事業区分は、四半期連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。
2 事業区分に属する主な内容

事業区分	主なる事業内容
運輸作業部門	港湾運送事業、通運事業、倉庫事業、貨物自動車事業
港湾部門	船舶碇繋場業(繫船、纜取、給水業務)
不動産部門	土地建物の賃貸、分譲及び仲介業
機械販売部門	建設機械等の販売、修理及び整備業
ホテル事業部門	ホテル、結婚式場、レストランの経営
商品販売部門	セメント製品等の販売、輸入製品の販売
その他事業部門	産業廃棄物の処理業務、通関業務、船舶代理店業務、保険代理店業務、航空貨物取扱業務、物品賃貸業、OA機器の販売

3 事業区分の方法の変更

平成21年4月1日付けで、連結子会社であるリンコー運輸㈱の営む事業のうち、自動車分解整備事業及び産業廃棄物処理事業の一部の権利義務を当社が承継する吸収分割を行いました。これに伴い、従来「運輸作業部門」に属しておりましたリンコー運輸㈱の自動車分解整備事業、産業廃棄物処理事業を、第1四半期連結会計期間より、それぞれ「機械販売部門」、「消去又は全社」に変更しました。なお、当社が承継した産業廃棄物処理事業を「消去又は全社」に含めたのは、当該業務の内容が維持管理業務のためであります。

この結果、従来の方法に比べて当第2四半期連結累計期間の売上高は、「運輸作業部門」が13,272千円（うち、外部顧客に対する売上高は15,739千円減少し、セグメント間の内部振替高は2,467千円増加）減少し、「機械販売部門」が23,175千円（うち、外部顧客に対する売上高は15,739千円、セグメント間の内部振替高は7,435千円、それぞれ増加）増加しております。また、「消去又は全社」のセグメント間の内部消去額は、9,903千円増加しております。

営業利益又は営業損失は、「運輸作業部門」の営業利益が5,832千円増加し、「機械販売部門」の営業利益が2,511千円増加しております。また「消去又は全社」のセグメント間の内部消去額は8,343千円増加しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報を、当第2四半期累計期間に用いた事業区分の方法により区分すると、次のとおりとなります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	運輸作業 部門 (千円)	港湾部門 (千円)	不動産部門 (千円)	機械販売 部門 (千円)	ホテル事業 部門 (千円)	商品販売 部門 (千円)	その他事業 部門 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1)外部顧客に対する 売上高	5,171,888	125,649	251,595	965,097	1,754,144	3,140,206	761,262	12,169,843	—	12,169,843
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,350	—	253,339	9,663	15,691	57,794	6,508	375,346	(375,346)	—
計	5,204,238	125,649	504,935	974,760	1,769,835	3,198,000	767,770	12,545,190	(375,346)	12,169,843
営業利益(△営業損失)	502,979	25,242	197,216	74,396	△60,539	83,339	273,975	1,096,610	(494,349)	602,260

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

在外子会社及び在外支店はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。